

あなたに

出逢えて：

— 第一〇六・七号 —

\* \* \* \* \*  
美優さん

今年もあと少しになって来ました。

後一ヶ月ほど今年ありますけどこの春美会で

沢山持ち帰って後一カ月間できるだけ心残りのないように過ごしていきたいと思っております。

春美先生

皆さんが凄く十年前から見たら凄く変わられてただの集まりじゃなくて芯からしっかり自分自身を向上しようという気持ちが強くなられたし自分の務めというのが各自あられますしそれを見つけて残った人生やっていってほしいなあと思いますし、だから縛られることなく縛られると狭くなっちゃうので、気持ちは自由の中で真なる心というのは培って欲しいと思いますね。

色んな方とあったりしていますけどいやあ春美会の人がよくばど立派だなあと思う事が何回もあるんですよね、だから私たちはその末端のこの精神をずっとね、おしえてもらって学び合ってるのかなあと思ってます、だから誇りにねそういう事



を学んでいる自分たちを誇りに思っただけでいいなあと思います。  
どうか皆さん自信を持ってですね、私は頑張っただけで死ねませんこの御縁をですね、いろいろな人と御縁が出来ても春美会っていいのを必ず言葉で出していくと思  
いますけどやっぱり羽ばたきたいですね生まれてきたいじょうはですね。  
皆さんもそれぞれ家族の方に対して色んな方に対して喜ばれる本当に期待されるあ  
てにされる、色んなねそういう立派な人になって欲しいと思います。  
よろしくお願い致します。

紫紺さん

最近よく思う事ですけど、春美先生もおっしゃっていらっしやいますけど、やっぱ  
り素直が一番ねって：本当につくづく思っただけです。やはりお習字をさせて頂い  
ていますけど、お手本を頂いているんですけど、お手本を見て習うんですよ、お  
習字は皆さん、字のお勉強と思っただけじゃありません、私も思うんで  
すけど、シンプルに考えるとそうなんですけど、やはり先生から頂いたお手本を元  
に素直に書くことよって、先生の性格といいますか：字を習う事によっしょう  
こを変える事も出来る、どうしても書いてると段々我が出てきて自分の字を書いて

しまうんですよ、この間言われたんですよねシンプルにお手本のように書くよかとですよねっと、私も改めて、そう言われると、ああそうよねえっと思つて、凄くシンプルなんですけど、やっぱりそこに我が入つて来て、どうしても自分の字を書いてしまふんですよね、ですのやっぱり素直に、本当素直にお手本のように、習つていると先生のような気持ちとか心持ちになれるんじゃないかと、じゃなくなれるとおっしゃられるので、本当にそんなものだとぞつてみたり、なぞるのも勉強、なぞらせて頂いて、よりお手本のように書けると思つてやっております。中々奥が深いので、ずつとなぞつていても、いざお清書を書こうとすると、全くです。ね：気持ち揺れてしまつたりだとかしてしまふので、そこを修正しつつです。ね、本当、素直に素直に書いていきたいと思つております、

千尋さん

今日は先日伊勢神宮に行つてきたお話をさせて頂きます。

十月の十六、十七日と伊勢神宮に行つてきました。

春美先生から伊勢に修養団というセミナーというか、そういうするところがあつて、とても良いのがあつて行つてみたらという事を六月ごろにお話しを頂いて、十月に



参加させて頂きました。

修養団の方は行かれてらっしゃる方もいると思うんですけど若い方がいらっしゃるのであれなんですけども、伊勢神宮っていうのは、三重県にある神社で天皇家の氏神様みたいな所で日本の神社の中ではトップクラスといえますか徳が高い、そういう神社なんです、十月に神嘗祭(カンナメサイ)の特別研修というのがあって、それに申し込んだんですけども、神嘗祭というのは今年初めて採れたたお米を神様に、奉納、はじめて食べて頂くお祭りなんです。

その神嘗祭の特別研修があるという事なので、そちらの方に申し込みをさせて頂いて行ってきました。

一人での参加で心細かったんですけど、行ってみたら皆さん凄く良い方ばかりで色んなお話を聞いたり、立ち振る舞いの実習でしたり：色々な研修が終わってその日のその研修のメインイベントみたいなものが、夜暗闇のなかである神嘗祭というお祭りだったんです。

真っ暗なところですね、昔みたいに木で火を起こしてその火を松明にして、お参りをされるような行事ですね、私たちも晩御飯終わって八時位から伊勢神宮の中に、真っ暗なところを入れて行ってですねじっと待っていたら、白装束を着た神官の方が式年遷宮でテレビであってたような、ああいう感じで神官の方が入ってこら

れて、暗闇の中にですね、真っ白な白装束が浮かび上がって、下が玉砂利ですのでジャジャジャと玉砂利の音が響いてですね、凄く厳かな感じで、松明の灯りをもとに神官の方が各お宮に参られてるんですね、私たちはその後を付いてお参りするんですけどもその神官の祭主の方が天皇陛下のお姉さまにあられる方で今年八十過ぎと言われていましたけど凄くお元氣そうで、私たちの待っているその前を天皇陛下のお姉さまが通られて、うわあ凄いなっと思いつながら見てたんですけれども：。伊勢神宮に行くときに最初に申し込んだんですけれども、京都から近畿電車で行ったんですけれども、何カ月も前から満席で無理です言われてたんですけれども、それから何日かしたら旅行社の方から連絡があつて奇跡的に一席だけ空いたという事でこれも伊勢神宮にお参りするから神様が呼んで下さったのかなあと思いつながら行って神嘗祭の闇の中のお祭りに入るのも申込者が非常に多いので、くじ引きじゃないと入れないっという事でせつかくここまで来たのにくじ引きで入れないなあと思つていたんですが、何とかくじ引きにあたって中に入れるようになりまして：これも何か見えない力で引かれているなあというものを感じながらですね、その時の様子を文化部の短歌にさせて頂きました。

そのお祭りが終わって次の日に朝伊勢神宮をお参りさせて頂いて神聖な空気の中でこう、昨日の夜とは違った感動を頂きました。

そしてそのセミナーが終わって、伊勢神宮は内宮・外宮と二か所あって本当は外宮をお参りして内宮に行くんですけど外宮の方にお参りしてなかったの、お参りしようと思つてバス停の方へ歩いて行つたらですね、後ろから車で来たおじさんが駅まで行かれるんだつたら、送りますよつて言つて頂いて、外宮をお参りしてないので外宮に行きますから、バスで行きますので大丈夫ですよつたらですね、その方が僕も外宮まで行きますからついでに乗せていきますよつて言われて、のせて頂いたんですね、外宮に行く前に近くに猿田彦神社があるんで、そちらにもよりたいから一緒に行きませんか？という事でしたので一緒に行かせて頂きました。その方と色々お話ししてたんですね、ところでどうして修養団の研修に参加されたんですか？といわれて、米村先生という方に勧めて頂いてつてお話ししたら：米村先生つて女性の方でおみくじ書かれる方ですよえつて言われるので、はいそうですね、すつて言つたら、僕そのおみくじの本を持って毎朝読んでいますよつて言われるんですよ、私もびっくりしてまさか伊勢まで来て、春美先生のおみくじを見ている方にお会いするとは思つてなくて、セミナー中にその方と一言も口を聞いてないし、たまたま後ろから来て車に乗せて下さつてお話ししたら春美先生の事を知つてられる、なんて言つたらいいのかホント不思議な御縁というか御縁というものだけじゃなくて何かに引かれているような、めぐりあわせというかそういうものを

凄く感じました。

セミナーの中でですね講師の方が言われた言葉に私たちが生きていくうちに太陽と空気と水は最低限必要なものだけでも：これは皆さんタダでもらってるんですよって、そういわれれば太陽にお金払わないし空気もタダですし、本当にそうだなって思っただけは見えない不思議な力で皆さんがこういうものの恵みを頂いて生かされているんですよとセミナーの先生がおっしゃられました。

自分たちがどこから来て生まれて生きて、死んでどこに帰って行くのかも、よくわかりませんがどこから来て生まれて生きて、死んでどこに帰って行くのかも、よくわかりませんが、最低限生きていけるものを頂いてるんだなあと本当に不思議な不思議な春美先生がよく不思議不思議って言って二つ重ねて言われるんですけども、本当に私も伊勢に行った時に、そういう不思議不思議な体験をしたし、不思議不思議なお話も聞けたので非常にいい経験をさせて頂いたと感謝しております。

修養団の方が神様にお参りするときには、お参りの作法としては、やはり最初に感謝の言葉を述べて下さい、いきなり自分のお願い事を沢山される方もいらつしやられるけど：それでは中々神様も聞いて下さらない、まず感謝の言葉を述べて、それから後で自分のお願いをするんですよって言われて、三年ほど前にお遍路さんに行つたんですけども、その時もやはりそうでした。

今回春美先生に御紹介ただかなかつたらこういう貴重な経験をさせて頂けなかつ

たので、本当に感謝の伊勢神宮参りでした。

麻美さん

いよいよ自分の番が回って来たと思うと凄く緊張しています。素晴らしいお話の後に私がお話ししているのかなあと思います。よろしく御願致します。

小さいころから人前で自分の考えとか思いを伝えるのはもの凄く苦手でした。

初めて友人の結婚式に出席してかつ初めて友人代表でスピーチをさせて頂いたんですけど友人には喜んでさせて頂きますと返事をしたもののやっぱりスピーチとなると人前で話さなければいけない、緊張するしどうしようかと思つて、色々な本などを見てスピーチの内容を考えていたんですけども、やっぱり最終的には、こう自分の言葉じゃないと相手に伝わらないなあと思つて、スピーチをさせて頂きました。

新郎さんの会社の社長さん男性だったんですけどやっぱり社長さんだけあって面白おかしくかつその方の良いところを凄く褒めて、やはり話し方もちがうなって感動しました、そんな式でした。

今日朝、どうしよう何を話そうかと思つた時に、おみくじを開いたんですよ、そし

たら天に愛され人に愛され、あなたは幸福に動くのです。っていう先生のおみくじに書いてあって読んでみると、自分に出来ること、人様の為に出来ること、今できることを行動に移すのです、あなたなら必ずできます、動きましょうと書いてあって、何といたしますか、あんまりはつきりとした答えは出来ないんですけど…気付かない部分を気付かされて、凄く素敵なおみくじ頂いたなっと思っただすね。

凄くありがたいものを頂いた気がして心が温かくなりました。その気持ちで北九州から来ました。

美優さん

皆様のお話を聞かせて頂いて…感謝という言葉がいっぱい入ってきました。

小さなこと、ちよっとしたことからは本当はいっぱい感謝をすることが沢山あるんだなあとという事をですね、改めて気づかさせて頂きました。

ありがとうございました。



春美先生

やはりあのどんどん成長してですねこの場所で慣れて人前で話すって事、勉強です。内容は気持ちがあれば伝わるんですよやっぱり最終的には心だから未熟なのは仕方ないけど、努力をしている姿というのはどんどん浸透していくし：沖繩のお掃除に参加させて頂いた時に初めてお掃除って心だなあっと思って、心なんですよ、でやっぱり人間て弱いから色んな人生送って色んな経験をしていっばい道があるんで色んな道を歩んできているので、中々自分というのが定まらなかったり、でも、やっぱりそれに進んでいったらやっぱり心を磨いて磨いて磨き尽くしたら正しい道がありますもんね。

中々入れない会だと思えますよつくづく思いますね気持ちがないとですね・・・。  
美優さん良かったね入ってね彼女なんて十一か月よね今月で、よう頑張ったね：  
結局みんな勉強、司会をした人は皆ね、スケールが大きくなってる、不思議ねー  
でもこの方って人とは縁が増えていくと思うのよねお互いの勉強のためにね、皆さんの受け入れ態勢が出来てあるからですね。  
一万の人に出させて頂こうと思っっているんですよ、本を出しますよね、その本の中

にP H Pさんにおみくじ欲しいと下さったならば、差し上げますと原本のおみくじを全て手書きを一人分今書き始めているんですよ。それは来年の五月か六月に出る来上がるんですけどでもこの人たちが日本の為に役立つてくれたならば、日本の為っていう思いがあると書けるんですよね、これが一枚いくらになると書けないんですよね、純粋な気持ちで書いてるので今書かせてもらってるし、ちょうど昔観音経を書きましたよねいっばいね、あの時も命がけで書いたんですよ、あの時の状況と一緒だなぁって思ってやっぱひとりでも多くの人におみくじは自分で引くでしょう、本が出版された時に後ろの方に返信用全部P H Pさんがやって下さるそうです、来られた方にはご自分だけのおみくじが欲しい方はって事で来たら送るといふ感じですので一万人分は書いてこうと：弱気になるかと書けないので、でも上からのメッセージを受けないといけないのでそのバランスとか精神状態とか色々ね。でも絶対に役に立ちたいと思ってます、これが縁ですものねでもその場所を与えてくれた、安藤さん、鍵山先生、色々な方達の気持ちに沿って行きたいしですね。

最終的には素直な気持ちでやれば、ひかりが絶対さすっていう事ですね、ひかりで出ても掴み損なう人がいっぱいいるんですよ、私欲を出さなくて本当に良かったと思うんです、まっすぐ来て、変な色んなのがあったけどそれに乗らないで来た事が一番良かったですね、今日も鍵山先生から朝電話があって、でも内容がたわいも

ない事なのね。

皆さん辛いことがあるかもしれないけど頑張ってくださいね。

\*  
\*  
\*  
\*  
\*

第 百二十五回 春美会  
会場 漢方ピュア  
日時 平成二十六年十一月吉日

— 司会・美優さん —



\*  
\*  
\*  
\*  
\*

\*  
\*  
\*  
\*  
\*

\* \* \* \* \*

美優さん

それでは春美会をはじめさせていただきます。

新しくですね紅花さんが今日おみえになっております、何か新しい風を吹き込まれるんじゃないかなつとそんな感じがしています。

それでは一言御願ひ致します。

紅花さん

皆さんこんばんはこういう会に参加させて頂くことが、私の人生にどんな事かなつと思つて本当に嬉しい気持ちどうやって表現していいのかなあつて思つてます。ここにこうやって来れた事、みなさんにお会いできたこととても嬉しく思います。これからもどうぞよろしく御願ひ致します。

春美先生

実は司会者をですね、お楽しみでいつも一月にお話ししてたんですけど、実は内定しててですね桔梗さんにやって頂きますので、きつと彼女はお弁当もして頂いてる



し、どうしても地味な人ってあったもんですから：そしてお願いしました。ご主人が丁度おられた時でしたので、引き受けて頂きました。

本当皆さん人間的にどんどん大きくなられてですね、私も皆さんの心があるからこそ本も出せたなあと思います。また次回の本がですね、もうありがたいばかりで美会の皆さんが支えて下さったことがあるからですね、もうありがとうございます。出来る限り皆さんプラスになるすね。色々なものを形として残したいと思います。出来る限り皆さんプラスになるって心や、言葉やそういうものですね。

カンナさん

無事に娘の進路も決まって、春美先生に御指導して頂いて心から感謝しています。これからもまだまだ四年間しっかり学ばせて頂いて、人の為になるように、そういう人になって欲しいと思いますのでどうぞ皆さんご指導よろしく御願ひ致します。

葉月さん

先生の御本を今日頂きましたP H Pの。先生の本を探している時の本のなかにですね、停滞するのはいけないことなのか、立ち止まること、振り返ることはいけな



い事なのか：それはけしていけない事ではなくて自分の中にある物をいったんよく考えて必要な時間であってそうやって考えている間に大切なものが浮きあがってくる、という言葉がとても響いてきて、あつ私は何か立ち止まることが、バックしてはいけないような気がして、立ち止まらないように、立ち止まっても前へ前へ進もう、その前に進むことがひたすら進んで違う方向に行ってしまうかもしれない、という事が書いてあって、だから立ち止まって考えることは決して悪い事じゃないと書いてありました。

なんでああそっか私は立ち止まっちゃいけない、ひたすらがむしやらに、まだ私も入りたての春美会、皆さんの方が人生経験してあって本当私分らなかつたんで、少しでも皆さんに追いつくように皆さんが言っていることが理解できるように、がむしやらに進んでいる分本当毎日その事だけを考えていたんですけど少し立ち止まることも自分を見つめ直すことでいけないことではないのかなあつとその言葉を見て思いました。先生の御本を探す所が違うものに出逢って、今日先生のお話はゆっくり読ませて頂きたいと思います。ありがとうございます。

桔梗さん

プレッシャーをいっぱい感じていますが先生からの先週御伺いした時に、司会やつ

た人は大きく変わったのよ、大きく成長できるのよっていうその言葉と、一緒にいた主人のそんなに言ってもらってるならしたらという後押しで、司会をさせて頂くことになりました。

まだ先週は発表されてないから、その一週間のうちに代わってるかもしれないと思って今日来たんです。

凄いいプレッシャーの中今日来たんで、子供に話すのは好きなんですけど、大人に話すのは：保護者会にはいつも緊張しています。全然慣れてませんけど、皆さんどうぞよろしくお願い致します。

春美先生



お弁当とね両方大変だと思えますけど、ピシッと九時なら九時に終わってですね、でも自分のマイペース好きにしていますよ。それが一番なんですよ、でもやっぱり教えられるから、一番大事な事、司会者ってね、皆さんいるでしょう、自分は末端、下の下の下において皆さんから教えて頂きますって気持ちじゃないとやれないです、それだけ言えます。自分が司会者って思うとねなんでみんな聞いてくれないんだらうって思うから、皆さんがいて自分が下の下の下においてね、皆さんに教えて頂

く頂ける一年間でございまして、というかんじです。その気持ちじゃないとね、こんな一生懸命なのになんでわかってくれないのってなるのよ。

それ勉強したでしょう、下にならないと出来ないのよね。下に降りないとわからないのよ、これは人生勉強、社会勉強、人間てなるのよ、私もいつも紙一重、先生とか言われるじゃない色んな方から言われるから、鍵山先生も必ず米村先生と言われるから、本当に恐縮するんですよ、申し訳ないと思うんですけどこっちは私に言っているんですよ、でも乗っちゃだめなのよね、いい気になるのよ、そこが人間がね、右か左か、そこだけは気を付けないと、末端にいる末端にいる、で私もあの時もできたのは皆さんより下の下の私がここにいさせて申し訳ないって気持ちであんまり思い過ぎちゃうとねえんりょうしっちゃってこう全部でないからそれもよくないし、それ言われるんですけどね安藤さんから、でもそれ位あってちようどいと思うんですよ、出ちやいますもんね、私がつてなるとでるんですよ。だから司会者っていうのは底辺になる勉強、もう三段階くらい下よ、二段階じゃなくて三段階くらい下よ、そうすると桔梗さんの周りが変わってくるから家族とかなんかが一番にですね。司会者するのはただ司会をするのではなく、やっぱり家族変わりますね。あの時司会をさせて頂いてあの時はスムーズに行ったなあとか後になってわかりますよ、感じますよ。自分が謙虚になれるのよ、だから謙虚になる勉強です。

一人一人が磨いて宝石になってもらわないと、何の為にやってもらってるかわからないですからね。

下座行にですからね、でも必ず身になりますからね。

美優さん

まさかおみくじを頂くなんて思わず、来月までおいておこうと思っていました。本当に来年新しい風が吹きそうだなあとという予感がですねして参りました。ありがとうございました。

\* \* \* \* \*

\* \* \* \* \*



第二四六回春美会

会場 漢方ピュア

日時 平成二十六年十二月吉日

司会・美優さん

\* \* \* \* \*